

1 学習のねらい

国語を適切に表現し正確に理解する能力を育成し、伝え合う力を高めるとともに、思考力や想像力を養い言語感覚を豊かにし、国語に対する認識を深め国語を尊重する態度を育てる。

2 学習を進めるにあたって

使用教材	国語1(光村図書) 新しい書写(東京書籍) 国語便覧(浜島書店) 国語の学習(明治図書) 毎日続ける10問漢字(浜島書店) 新しい文法ワーク(明治図書)	持ち物	教科書、ノート、ワーク、月の詩、国語便覧 他はそのつど連絡
学習方法	学校	・授業開始時に間に合うように準備をし、真剣に授業に取り組もう。 ・コの字型、小グループでの話し合い活動に積極的に参加する等、人の意見に耳を傾け、積極的に意見交換し、考えを深めよう。 ・大きな声で本や月の詩を読もう。また、月の詩は暗誦にもチャレンジしよう。 ・自分の考えをノートに書く習慣をつけ、工夫したノートを作るよう努力しよう。 ・授業の振り返りをしっかりしよう。	
	家庭	・家庭学習の習慣をつけ、その日の復習をしっかりと行おう。(教科書を読む、ノートの見直し、自主勉強ノートへのまとめ等) ・漢字や文法は何度も練習問題に取り組み、丁寧に学習しよう。 ・たくさん本を読み、「読む力」「想像する力」をつけよう。 ・自主勉強をしよう。(発展的な調べ学習、語句の意味調べ等)	

3 評価について

評価観点		評価の場面・方法
①国語への関心・意欲・態度	意欲的に国語学習に参加することができる。 提出物を自分の学力向上に役立てることができる。 授業の振り返りを通して、自分の課題を見つけ、次の学習に活かそうとすることができる。	授業態度 課題の提出状況 発言意欲 自主学習ノート ノートの内容 月の詩の暗唱 ベーシック(漢字) 学びのパスポート
②話す・聞く力	自分の考えをまとめて話したり、相手を理解しながら聞いたりすることができる。	音読・スピーチ 授業中の様子 発表(内容の充実) 聞き取りテスト
③書く能力	授業を通して気づいたこと、考えたことを的確に、わかりやすくまとめることができる。 適切な資料を集め、明確に文章にまとめることができる。	定期テスト 作文等 ノート(内容の充実) 学びのパスポート
④読む能力	文章の筋道をとらえながら正確に読み、内容を理解することができる。	定期テスト 発表(内容の充実) ノート(内容の充実)
⑤言語についての知識・理解・技能	言葉のきまりを理解し、漢字や語句などを正しく使うことができる。	定期テスト 書写作品 ノート等の提出物 漢字テスト

4 学習計画について

学期	学習計画	つきたい力
1	・オリエンテーション ・野原はうたう ・花曇りの向こう ・ダイコンは大きな根？ ・ちょっと立ち止まって ・好きなものを紹介しよう ・文法への扉1(言葉のまとまりを考えよう)	・小学校の学習内容を振り返ることができる。 ・詩に込められた作者の思いを読みとれる。 ・登場人物の心情を捉え、理解できる。 ・段落の役割に着目して内容を的確に読みとれる。 ・具体的説明の内容や筆者の考えを読みとれる。 ・話の構成などを工夫し、自分の思いを相手に伝えるように話すことができる。 ・言葉の単位について理解できる。
2	・話し言葉と書き言葉 ・漢字の組み立てと部首 ・大人になれなかった弟たちに… ・わかりやすい案内文を書く ・文法への扉2(言葉の関係を考えよう) ・シカの「落ち穂拾い」 ・漢字の音訓 ・いろは歌 ・蓬萊の玉の枝 ・今に生きる言葉	・話し言葉と書き言葉の違いを理解し、使い分けることができる。 ・漢字の部首を理解できる。 ・登場人物の置かれた状況と、その時の心情や生き方を捉えられる。 ・相手に伝えたい内容を明確にし、それが伝わるように文章を考えることができる。 ・文の組み立てを考えることができる。 ・記録の文章の特徴や論理展開を理解できる。 ・漢字の読みの多様性を理解できる。 ・古典の世界に関心をもつことができる。 ・語句の意味や古文の表現の特徴を理解できる。 ・故事成語の由来を調べ、理解できる。
3	・毛筆(楷書・行書) ・幻の魚は生きていた ・少年の日の思い出 ・さまざまな表現技法 ・文法の扉3(単語の性質を見つけよう) ・漢字の成り立ち ・印象深く思いを伝えよう	・字形、大きさ、配列を意識して書ける。 ・論理的な文章の構成に着目しながら、筆者の意見を理解できる。 ・作品の構成や展開、登場人物の心情の移り変わりを読みとれる。 ・さまざまな表現技法を知り、文章を読み取ったり、豊かな表現になるよう工夫したりできる。 ・単語を分類する方法について理解できる。 ・表意文字としての漢字の特徴とよさを理解できる。 ・自分の考えを、相手・目的に合わせて文章にし、わかりやすいものになるよう、推敲できる。

1 学習のねらい

【地理的分野】

- ・世界の地域的な特徴を理解し、地理的な見方や考え方を身につける。
- ・世界と日本の諸地域を比較しながら、各地域・州の特徴を理解する。
- ・さまざまな地図や資料を読み取る能力を身につける。

【歴史的分野】

- ・古代から中世の日本の歴史の流れを理解しつつ、日本の文化や伝統を理解する。
- ・古代から中世にかけての日本の歴史と、当時の諸外国の歴史やその関連を理解する。

【共通】

- ・調べ学習をもとにして、資料の使いこなす能力を身につける。
- ・授業に積極的に参加し、課題を主体的に追究し、周りの意見を容れながら自分の意見をまとめ、教材や他者と対話する力を高める。

2 学習を進めるにあたって

使用教	教科書：中学生の地理（帝国書院） 中学校社会科地図（帝国書院） 新編 新しい社会「歴史」（東京書籍） 補助教材：資料集、ワーク	持ち物	教科書、ノート、 地図帳、資料集、 ファイル 他はその都度連絡
学習方法	学 校	・授業の準備素早くし、服装・身なりを整え、早めに着席しておこう。 ・小グループの活動や学級全体での話し合い活動に積極的に取り組み、人の意見をよく聴き、その意見をふまえた発言を行い、話し合いを深めよう。 ・分かったこと、理解したこと、資料や既習事実、経験などの根拠をもとに学習課題に対する自己の考えを積極的に発言しよう。 ・集中して学習に取り組み、仲間の発言に対して簡単に納得をせず、疑問が解消するまでどんどん質問をしよう。 ・提出物は期限を守って提出しよう。忘れ物をしないようにしよう。	
	家 庭	・授業ごとに、授業ノートを中心に、新しく学習した内容をまとめたり、語句や用語などの意味を調べたりしてノートのスペースに復習しよう。また、授業の学習内容に関連することや疑問に思ったことなどを、教科書や資料集、自分でさがした文献資料・データ資料、新聞記事やインターネットなどで調べ、その追究を深めよう。 ・テストで間違った用語や内容についてもよく復習しておこう。 ・単元が済んだら、その単元のワークの問題をやっていこう。 ・ニュースや社会科、地理・歴史に関するテレビを見るように心がけよう。 ・毎朝、新聞を読むように心がけよう。	

3 評価について

評価観点		評価の場面・方法
①社会的事象への関心・意欲・態度	社会的な事象に対する興味関心を深め、それを意欲的に追究しようとする。また、課題を見つけ出したり、それを解決したりするため、自ら調べたり、他者と話し合ったりしようとする。	ノート等への自主的な復習や追究 学習活動への主体的な参加や態度 課題や提出物への取り組み内容 学びのパスポートでの自己の学習を調整する態度
②社会的な思考・判断・表現	社会的な事象から問題を見出し、社会的な事象の意義や特色、相互の関連を多角的に考察し、根拠を踏まえ公正に判断するとともに、その追究や考察した過程や結果を適切に表現する。	単元レポート 振り返りシート 思考・判断を必要とする発言 ノートやワークシートにおける考えや感想 調べたことや追究したことを表現する課題 定期テスト
③資料活用 of 技能	グラフや資料から、社会的な事象の全体との比較や相互の関連性について、正しく理解しグラフや資料の表現する内容を読み取り、有用な情報を適切に選択して活用する。	資料・史料・グラフ・絵・写真・表のよみとり、資料を活用する課題 定期テスト
④社会的な事象についての知識・理解	社会的な事象に関する基礎的な内容について、それらを理解しわかりやすく説明することができる。	小テストや定期テスト

4 学習計画について

学期	学習計画	つきたい力
1	オリエンテーション	・小学校の学習内容を振り返ることができる。
2	地理 第1部 世界のさまざまな地域 第1章 世界の姿 第2章 世界各地の人々の生活と環境 第3章 世界の諸地域 ・アジア州 ・ヨーロッパ州 ・アフリカ州 ・北アメリカ州 ・南アメリカ州 ・オセアニア州 第4章 世界のさまざまな地域の調査 (第3章の教材となる各州の順序が入れかわる場合があります。また、第2章の内容をからめながら授業をおこないます。)	・地球儀や世界地図を活用し、緯度と経度、大陸と海洋の分布、主な国々の名称と位置、地域区分などを取り上げ、世界の地域構成を把握するとともに、意欲的に追究することができる。 ・世界各地の環境やそれに応じた人々の生活の多様性について理解するとともに、そこで生じてきた課題を見いだし、多面的・多角的に考察することができる。 ・世界の諸地域について、各州に暮らす人々の生活の様子を自然環境、歴史的背景、産業、環境問題、人口や都市、生活・文化・宗教などのいずれかの地理的事象から、各州の地域的特色を理解することができる。 ・世界の各州の地域性や特殊性から生じる課題を、多面的・多角的に追究するとともに、公正に判断することができる。 ・世界の地域を調べる手法として、統計資料のよみとりや利用ができるとともに、自ら世界の諸地域の課題を見つけテーマを決め、調べ、まとめることができる。
2	歴史 第1章 歴史の流れをとらえよう	・時代の移り変わりに気付き、年代の表し方や時代区分を理解することができる。
3	歴史 第2章 古代までの日本 第1節 世界の古代文明と宗教のおこり 第2節 日本列島の誕生と大陸との交流 第3節 古代国家の歩みと東アジア世界 歴史 第3章 中世の日本 第1節 武士の台頭と鎌倉幕府 第2節 東アジア世界との関わりと社会の変動	・世界の各古代文明の生活技術の発達や文字の使用、国家のおこりと発展などを理解し、共通する特色に気づくとともに、世界の文明地域と各宗教との重なりに気づくことができる。 ・日本列島において狩猟・採集をおこなっていた人々の生活が農耕の広まりとともに変化をしていったことに気づくとともに、その背景に大陸との交流があったことを理解し、国家の基礎が形成されていく過程を意欲的に追究できる。 ・東アジアとの関わり、聖徳太子の政治、仏教の広まり、律令国家の確立、摂関政治を通して、古代の歴史の流れと、時代の特色を多面的・多角的にとらえて、各時代背景から生じる課題を考察することができる。 ・武士の起こりから、初の武家政権である鎌倉幕府の成立という、中世前期の特色を多面的・多角的に考察することができる。 ・鎌倉幕府の崩壊から南北朝の争乱、室町幕府、応仁の乱後の社会的な変動という中世後期の歴史の流れと時代の特色を多面的・多角的に考察することができる。

※世界諸地域の課題の変化によって、教材の順序が入れかわったり、時間数変動したりします。

1 学習のねらい

基礎的・基本的な知識及び技能を修得し、それらを活用して問題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力をはぐくみ、数学の学習に主体的に取り組む態度を養います。

- ・数学的活動を楽しみ、数学のよさを実感することができるようになります。
- ・事象を数理的に捉えようとし、それを表現する能力を高めます。
- ・既習事項を活用しようとする態度を育てます。

2 学習を進めるにあたって

使用教材	未来へひろがる数学 1(啓林館) 完成問題集(三泗数学研究協議会) 数学のベーシックマスター(新学社) 新学習指導要領追加補助教材(文部科学省)	持ち物	教科書、ノート ファイル、完成問題集 ベーシックマスター
学習方法	学校	・授業開始時には、授業の準備をして着席しよう。 ・授業中は、先生や友達の話集中して聴こう。 ・授業中、発言や質問を行うなどして、積極的に参加をしよう。 ・話のポイント、自分で気づいたことなどをノートに書き留めておこう。 ・提出物は提出日の期限を守ろう。	
	家庭	・授業で学習したところは、その日のうちに復習をしよう。 ・提出物は計画的に進めていこう。	

3 評価について

評価観点		評価の場面・方法
① 数学への関心・意欲・態度	課題への取り組みが早く、意欲的に取り組もうとする。 繰り返し問題を解き、確実に習得しようとする。 宿題や提出物を丁寧に取り組む。 自分の課題をみつけ、やりとげようとする。	授業中の発言、ノート等への記述内容、提出物・宿題、学びのパスポートなど
② 数学的な見方や考え方	すでに学んだことをもとにして、新しい性質や考え方を自ら発見できる。 自分の考えを筋道をたてて説明することができる。	授業中の発言、ノート等への記述内容、定期テストなど
③ 数学的な技能	計算を迅速かつ正確にすることができる。 グラフをかいたり、式を求めたりできる。 基本的な作図ができる。	授業中の発言、ノート等への記述内容、定期テストなど
④ 数量や図形などについての知識・理解	用語や定理の意味や仕組みを理解している。	授業中の発言、ノート等への記述内容、定期テストなど

4 学習計画について

学期	学習計画	つきたい力
1	オリエンテーション 1章 正の数・負の数 ・正の数・負の数 ・正の数・負の数の計算 ・正の数・負の数の利用 ・素数の積で表すこと 2章 文字の式 ・文字を使った式	・小学校の学習内容を振り返る。 ・正の数、負の数の意味を理解できる。 ・正の数、負の数の四則について理解し、それらの計算ができる。 ・文字を使った式の表し方を理解し、それに基づいて式に表したり、表された式を読み取ったり、文字に値を代入して式の値を求めることができる。
2	・文字の式の計算 3章 方程式 ・方程式 ・方程式の利用 4章 変化と対応 ・関数 ・比例 ・反比例 ・比例、反比例の利用	・簡単な式の加法と減法の計算ができる。また、式に数をかけることや式を数でわることができる。 ・方程式とその解の意味について理解できる。また、等式の性質を利用して式を変形することで、方程式を解くことができる。 ・方程式を利用して、身のまわりの問題を解決することができる。 ・関数、比例、反比例の意味を理解し、表、式、グラフなどで表すことができる。 ・比例や反比例の関係を利用して、身のまわりの問題を解決することができる。
3	5章 平面図形 ・直線図形と移動 ・基本の作図 ・円とおうぎ形 6章 空間図形 ・立体と空間図形 ・立体の表面積と体積 7章 資料の活用 ・資料の傾向を調べよう (累積度数も扱う)	・直線、線分、角などの意味や表し方を理解できる。また、図形の移動の意味と、その性質について理解できる。 ・基本的な作図のしかたについて理解し、それを利用することができる。 ・円やおうぎ形についての基本的な用語の意味や表し方を理解できる。また、おうぎ形の中心角と弧の長さ、中心角と面積の関係を理解し、弧の長さや面積を求めることができる。 ・いろいろな立体や、見取図、展開図、投影図についての観察を通して、立体について理解を深めることができる。 ・柱体の表面積、錐体や球の表面積や体積を求めることができる。 ・ヒストグラムや代表値の意味を理解し、それを用いて資料の傾向をとらえ説明することができる。

1 学習のねらい

自然の事物・現象に進んでかかわり、興味・関心をもって観察、実験などを行い、科学的に探求しようとする態度を育てるとともに自然の事物・現象についての理解し、科学的な見方や考え方の基礎を養う。

2 学習を進めるにあたって

使用教材	教科書「未来へひろがるサイエンス1」 資料集、プリント、ワークブック		持ち物	教科書、ノート、資料集
学習方法	学校	・コの字型、小グループ等での話し合い活動に積極的に参加し、考えを深めよう。 ・授業に集中しよう。 ・板書は手早く写し、重要箇所は強調しよう。 ・問題はまず自分で考え、わからなければたずねよう。		
	家庭	・ノートを見直そう。またはまとめ直そう。 ・ワークブックの基本問題をやってみて習得すべき事柄や、定着していない内容をはっきりさせよう。→ 学習した後、再度問題をやってみよう。		

3 評価について

評価観点		評価の場面・方法
①関心・意欲・態度	授業に積極的に参加しているか。 提出物を自分の学力向上に役立てているか。 自然科学に興味があるか。	授業態度 持ち物の状況 提出物 振りかえり感想 ノート・プリントの提出状況・内容 定期テスト 学びのパスポート
②科学的思考	課題について論理的に考え、解決する方法を見出し、表現することができるか。	発言内容 実験観察レポート プリント内容 振りかえり感想 定期テスト 学びのパスポート
③実験観察の技能表現	事象を、ポイントを外さずに観察できるか。 実験器具を正しく安全に使用できるか。 レポートをきちんと書けるか。	実験中の態度、器具の扱い方 実験観察レポート 実技テスト 定期テスト
④知識理解	自然のきまりを理解しているか。 重要語句の意味を正しく理解しているか。	定期テスト 小テスト

4 学習計画について

学期	学習計画(項目のみ)	つきたい力
1	・オリエンテーション [生命]植物のくらしとなかま 1章 花のつくりとはたらき 2章 水や栄養分を運ぶしくみ ※移行措置により一部省略 3章 栄養分をつくるしくみ ※移行措置により省略 4章 植物のなかま分け	・小学校の学習内容を振り返る。 ・身近な植物の観察・実験を通して、生物観察・実験の基礎である顕微鏡やルーペの操作を身につけ、スケッチなどで記録することができる。 ・植物の体のつくりとはたらきが理解でき、植物の生活や種類についての認識を深めることができる。
2	A 章 動物のなかま(移行措置) [エネルギー]光・音・力による現象 1章 光による現象 2章 音による現象 3章 力による現象 2 力のつり合い(移行措置) [物質]身のまわりの物質 1章 いろいろな物質とその性質 2章 いろいろな気体とその性質 3章 水溶液の性質 4章 物質のすがたとその変化	・動物の体のつくり注目して、身近な動物の仲間分けをすることができる。 ・生物や生物をとりまく環境について興味・関心を持ち、生命を尊重する態度をとることができる。 ・身近な事物・現象についての観察・実験を通して、光や音、力の規則性および性質を理解し、表現できる。 ・これらの事物・現象を日常生活や社会と関連付けて、科学的な見方や考え方を身につけることができる。 ・加熱や冷却などに関する基本的な実験器具の操作を安全かつ正確に行い、物質の性質や変化を調べることができる。 ・身のまわりの物質についての観察や実験を通して、いろいろな物質や水溶液の性質、物質の状態変化について理解し、表現できる。
3	[地球]活きている地球 1章 大地がゆれる 2章 大地が火をふく 3章 大地は語る	・大地の活動の様子や身近な岩石、地層、地形などの観察を通して、地表にみられる様々な事物・現象を大地の変化と関連付けて理解でき、大地の変化についての認識を深めることができる。 ・日本には火山の噴火や地震などの災害が多いことを理解し、防災についての知識や関心を持つことができる。

1 学習のねらい

表現活動

- ・仲間と歌う喜びをわかち合い、音楽学習への意欲・態度を育てる。
- ・基本的な発声方法や表現方法を身につけ、曲想を感じ取って歌うことができるようになる。
- ・日本の伝統楽器に触れ、基本的な奏法を身につける。
- ・パート練習やグループ活動に積極的に参加できるようになる。

鑑賞活動

- ・「音楽を形づくっている要素」や「構造」を感じ取って、曲を感じ取って聴く能力を身につける。
- ・わが国の音楽に親しむ心情を育てる。
- ・「音楽を形づくっている要素」や「構造」をもとに自分が感じたことを口頭や文章で表現できるようになる。

2 学習を進めるにあたって

使用教材	教科書:中学生の音楽1(教育芸術社) 中学生の器楽(教育芸術社) 補助教材:合唱曲集「キミウタ」(教育芸術社)	持ち物	教科書 合唱曲集 ファイル 筆箱
学習方法	学校	・コの字型、小グループ等での活動に積極的に参加し、考えを深めよう。 ・音楽は授業が勝負です。忘れ物に気をつけ、学習課題をしっかりとらえ、素直な気持ちで積極的に授業に参加しよう。 ・男子は変声期で音域が狭くなるなど、思うように歌えない時期になります。自分の出しやすい音域で無理のない自然な発声を心がけよう。周りの人も温かく見守ってあげよう。 ・歌唱時には、失敗をおそれず恥ずかしがらず、いつもたっぷりとした声を出して一生懸命演奏しよう。間違いから発見し、わかり、上手になります。 ・合唱や楽器は楽譜(歌詞や演奏上の記号等)を覚えて演奏できるようになろう。 ・学校行事への参加などを通して、いろいろな合唱曲に取り組み、表現力と合唱を愛好する心情を育てよう。 ・自分で気づいた点や先生の説明・アドバイスなどは楽譜にメモをしよう。	
	家庭	・楽譜を見直して、歌詞やメロディーが早く覚えられるように練習しよう。 ・音楽のきまり(音符・休符・記号など)は家できちんと復習して覚えよう。 ・口の開け方や、呼吸の方法などは鏡を見て研究しよう。 ・鑑賞教材などは教科書とプリントをよく読んで復習しよう。	

3 評価について

評価観点		評価の場面・方法
①音楽への 関心・意欲・態度	・音楽の表現について感心を持ち、意欲的に技能を修得したり、表現を工夫したりしようすることができる。 ・音楽に関心を持ち、その仕組みや美しさを感じ取ろうとすることができる。 ・パート練習やグループ活動に積極的に参加できる。	学習活動への参加の仕方や 態度、聴く姿勢 準備物 提出物 定期テスト 学習プリント 楽譜記入
②音楽表現の 創意工夫	・音楽をより美しいものにしようとして、歌詞と「音楽を形づくっている要素(曲にふさわしい歌声や音色、リズム、メロディー、強弱など)や曲の構造などイメージをふくらませ表現することができる。	授業での演奏活動の様子 学習プリント 実技テスト 定期テスト
③音楽表現の 技能	・のびのびと表現活動ができる。 ・呼吸や共鳴に気をつけて響きのある歌声で歌うことができる。 ・姿勢や奏法などを身につけることができる。	授業での演奏活動の様子 実技テスト(姿勢、口の開き方、声の大きさ、音程)

鑑賞の能力	・範唱や・仲間の演奏や発表を静かに、熱心に聴くことができる。 ・作曲者のことや、曲ができた背景を理解した上で鑑賞し、曲からさまざまなことを感じ取ることができる。 ・音楽を形づくっている要素(音色・強弱・速度・リズムなど)に基づいて聴き、自分が感じ取ったことを記述できる。	授業に取り組む姿勢 鑑賞の記録プリント 定期テスト(鑑賞について)
-------	---	---

4 学習計画について

学期	学 習 計 画	主 な 指 導 目 標
1	・オリエンテーション ・「校歌」 ・「歌よ ありがとう」 ・鑑賞「春」 ・リズムドリル ・「浜辺の歌」 ・合唱の練習	・小学校の学習内容を振り返る。 ・級友と共に歌う喜びを味わい、音楽学習への意欲・態度を身につける。 ・音楽室の使い方や、授業を受けるためのルールを覚える。 ・のびのびと大きな声を出して、正しい音程で歌う。 ・自分のパートの音を正しく歌う。 ・歌詞の意味や言葉のニュアンスを生かしながら合唱をする。 ・ソネットの場面に関心を持って聴く。 ・チェンバロ、弦楽器について知る。 ・ソネットを手がかりに楽曲の特徴に気づき、弦楽合奏の響きを聴き取る。 ・リズム打ちの練習に意欲的に取り組む。 ・拍子のまとまり感、リズムパターンの反復や変化などを感じ取り、正しいリズムで演奏する。 ・フレーズの特徴を生かして、情景を思い浮かべながら歌う。 ・積極的にみんなで協力して練習に取り組む。 ・自分のパートの音を正しく歌う。 ・曲の歌詞をよく理解し、イメージ画と歌詞研究をする。(夏休みの課題)
2	・合唱の練習 ・「赤とんぼ」 ・鑑賞「魔王」 ・鑑賞「六段の調べ」 ・箏による「さくら」の演奏	・自分のパートの音を正しく歌う。 ・パートの役割と全体の響きに気をつけて歌うことで、混声合唱のハーモニーの美しさを感じる。 ・それぞれの学級の合唱の良さを意識して具体的に評価しながら聴く。 ・詩に込められた思いや、描かれている情景を感じ取って歌う。 ・詩の内容を理解し、場面を想像しながら聴き取る。 ・ピアノ伴奏の果たす効果を感じ取る。 ・登場人物の旋律の雰囲気や歌い方の違いを感じ取る。 ・作曲者や、曲の成り立ちについて理解する。 ・楽器の音色や独特の奏法による演奏効果など、日本の器楽や伝統音楽の特徴を感じ取る。 ・箏に興味を持ち積極的に取り組む。 ・箏の楽器の特徴や基本的な奏法について理解し、演奏する。 ・仲間の演奏を聴き、前向きな評価をする。
3	・「旅立ちの日に」 ・器楽ギター「カントリーロード」	・自分のパートの音を正しく歌う。 ・卒業生を送るにふさわしい気持ちで取り組む。 ・歌詞にこめられた思いを旋律の抑揚を感じ取り、合唱にいかして歌う。 ・豊かな響きのある声で歌うことができる。 ・ギターに興味を持ち、基本的な奏法について理解し、演奏する。

1 学習のねらい

表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、美術の創造活動の喜びを味わい美術を愛好する心情を育てるとともに、感性を豊かにし、美術の基礎的な能力を伸ばし、美術文化についての理解を深め、豊かな情操を養う。

2 学習を進めるにあたって

使用教材	教科書:『美術1』(日本文教出版) 補助教材:『美術資料』(秀学社)	持ち物	教科書、資料集、 鉛筆(B, 2Bなど)、 色鉛筆、絵の具セット等
学習方法	学校	- 鑑賞活動に積極的に参加し、考えを深めよう。 - 美術は忘れ物をしないことが特に重要です。忘れ物をなくそう。 - 道具の準備を済ませて着席するベル席に努めよう。 - 私語をなくし、集中して、根気強く作品作りに取り組もう。	
	家庭	- アイデアを考える時間は授業時間だけでは不足です。家庭でしっかりと考え、準備しよう。 - 美術館や図書館に行き、造形作品などにふれ感性を豊かにしよう。	

3 評価について

評価観点		評価の場面・方法
①関心・意欲・態度	授業に積極的に参加しているか。 提出物の期限を守っているか。 美術に興味があり、創造する意欲があるか。	授業態度・持ち物の状況 提出物の状況・内容 定期テスト
②発想や構想の能力	課題をもとに感性や想像力をはたらかせて、独創的な発想ができるか。 対象やものごとを深くみつめ、創造的な構想ができるか。	アイデアスケッチ 制作過程 完成作品 定期テスト
③創造的な技能	制作する材料や道具を生かし、イメージしたものを表現できるか。 自分のイメージに合う表現方法を創意工夫し表現できるか。	制作過程の中での材料や用具の使用の様子 完成作品 定期テスト
④鑑賞の能力	自然や美術作品のよさや美しさを感じとり、味わうことができるか。 ともだちの作品を理解し、よさや美しさを感じとり味わうことができるか。 自分の制作を振り返り、客観的に自己の作品や制作態度を評価することができるか。	鑑賞レポート 作品の感想 定期テスト

4 学習計画について

学期	学習計画	つきたい力
1 6月	・小学校で未履修分についての取り組み ・色の整理 ・描く創る 鉛筆の使い方 玉ねぎのデッサン 玉ねぎの立体作品(粘土) ・鑑賞(ピカソ)	色の三要素、三原色、色相環を理解し、作品に生かすことができる。 ・鉛筆デッサンの基礎を理解し、よく観察し、質感や立体感をとらえ、単色の表現ができるようにする。 ・形や質感を正確にとらえ立体的な表現することができる。 ・平面の表現と立体の表現の違いを味わうことができる。 ・作者の心情を理解し、作品のよさや美しさを感じ取ることができる。
2 8月	・レタリング 永字八法 明朝体、ゴシック体の基礎 名前のレタリング ・絵具の使い方 ・絵文字 ・鑑賞(ルネサンス)	・レタリングの基本的な点画と書体を理解し、自分の名前をレタリングできるようにする。 ポスターカラーの特性を理解し、基本的な使い方や表現技法を身につけることができる。 ・レタリングの基礎を活かし、楽しいデザインをすることができる。 ・時代背景と作者の心情を理解し、作品のよさや美しさを感じ取ることができる。
3 1月	・ルームランプ製作 ・鑑賞	・自分のイメージを生かして、粘土とペットボトルで製作する。 ・手順と方法を試行錯誤しながら、より良い表現を見つけることができる。 ・友達の作品を理解し、心情をくみ取り、よさや美しさを感じ取ることができる。

1 学習のねらい

○心と体を一体としてとらえ、運動や健康・安全についての理解と運動の合理的な実践を通して、生涯にわたって積極的に運動に親しむ資質や能力を育てるとともに健康の保持増進のための実践力の育成と体力の向上を図り、明るく豊かな生活を営む態度を育てる。

【体育分野】

- (1) 運動の合理的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを味わうことができるようにするとともに、知識や技能を身に付け、運動を豊かに実践することができるようにする。
- (2) 運動を適切に行うことによって、体力を高め、心身の調和的発達を図る。
- (3) 運動における競争や協同の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の役割を果たすなどの意欲を育てるとともに、健康・安全に留意し、自己の最善を尽くして運動する態度を育てる。

【保健分野】

個人生活にける健康・安全に関する理解を通して、自らの健康を適切に管理し、改善していく能力を育てる。

2 学習を進めるにあたって

使用教材	教科書:新中学の保健体育(学研) 補助教材:中学体育実技(Gakken)		準備物等	半袖体操服、ハーフパンツ、 長ジャージ、体育館シューズ 中学体育実技、筆記用具、ファイル等
学習方法	学校	・自分の体の調子を整え積極的に授業に参加しよう。 ・体操服や、シューズ、教科書など忘れ物をしないよう授業の準備をしっかりしよう。 ・授業の指示を聞くために集中して話を聞こう。 ・仲間と楽しく学び合い、運動できるようコミュニケーションをはかろう。 ・あいさつや準備体操の号令は大きな声でしよう。 ・いろいろなスポーツに取り組んで体力をつけよう。		
	家庭	・早寝、早起き、朝ごはんを目標に十分な休養、バランスの取れた食事に気をつけよう。 ・自分の健康と家族の健康に関心を持ち、規則正しい生活が送れるようにしよう。 ・家の周りを走ったり、縄跳びをしたり柔軟体操をして家でもからだを動かすよう心がけよう。 ・いろいろなスポーツに関心を持ちテレビや本や新聞、テレビなどから情報を得よう。		

3 評価について

評価観点		評価の場面・方法
①運動への関心・意欲・態度	公正、協力、責任などの態度を身につけ、健康・安全に留意し、運動の楽しさに触れ、全力で運動しようとしている。また、自ら進んで運動の楽しさや喜びを体得しようとしている。	・学習活動への参加の仕方、態度、見学など ・振り返りシート ・ファイル
②運動についての思考・判断	運動の特性に応じて自己やグループの課題の解決を目指し、活動の仕方を考えたり工夫したりしている。また、その結果を適切に振り返ることができる。	・振り返りシート ・小テスト ・ファイル
③運動の技能	運動の課題や行い方や戦術を基に運動を行うことができ運動の特性に応じた技能やゲームの進め方を身につけている。	・授業中の活動の様子 ・実技テスト
④運動や健康・安全についての知識理解	運動に関わる心身の動き、運動の行い方や作戦、体力測定の方法と結果の活用、運動の練習の原則および生活における運動の取り入れ方や意義に関する基礎的な知識を理解し、身につけ生かしている。	・定期テスト ・小テスト ・プリント

学期	単元計画	観点別評価の具体例
1	・オリエンテーション ・集団行動 ・体づくり運動 ・ラジオ体操 ・新体力テスト ・短距離走・リレー ・バレーボール 〈保健〉 「心身の発達と心の健康」	・小学校の学習内容を振り返ることができる。 ①必要な用具を準備し、授業に対し、真面目な態度で受けている。 ①授業のルールや約束を守り、安全に留意して運動できる。仲間と協力をして準備運動や準備、片づけができる。 ②運動に興味・関心を持ち、意欲的に練習に取り組むことができる。 ②③順番を覚えてラジオ体操をすることができる。 ②③新体力テストの実施方法や体力について理解し測定することができる。 ②③100mをより速く走る走法を身につけることができる。クラウチングスタートの方法やルールを理解して練習できる。 ②③助走や踏み切り、かがみとび・はさみとびの方法を理解し練習することができる ③テイクオーバーゾーンを十分に使ってスピードを落とさずにバトンパスができる。 ③ボールに慣れ、オーバーハンドパス、アンダーハンドパスを使ってパスを続けることができる。 ④心身の発達と心の健康について理解し考えることができる。体や健康について仲間と学び合いができる。
2	・マット運動・跳び箱運動 ・ソフトボール ・剣道 ・持久走・10分間走 〈保健〉 「心身の発達と心の健康」	①必要な用具を準備し、授業に対し、真面目な態度で受けている。 ①授業のルールや約束を守り、安全に留意して運動できる。仲間と協力をして準備運動や準備、片づけができる。 ②運動に興味・関心を持ち、意欲的に練習に取り組むことができる。 ③キャッチボール、バッティングの基本的な技術を身につける。 ③武道の礼儀を身につけることができる。剣道の基本動作、組み方、簡単な技を習得することができる。 ②自分の能力にあった技を工夫して練習することができる。 ④性機能について理解することができる。
3	・バスケットボール ・サッカー ・ダンス 〈保健〉 「心身の発達と心の健康」	①必要な用具を準備し、授業に対し、真面目な態度で受けている。 ①授業のルールや約束を守り、安全に留意して運動できる。仲間と協力をして準備運動や準備、片づけができる。 ②運動に興味関心を持ち、意欲的に練習に取り組むことができる。 ②③個人技能(ドリブル、パス、シュート)を習得しようと意欲的に練習することができる。 ③踊り方の特徴をとらえ、音楽に合わせてステップや動きができる。 ③自己の体力やペースを知り、完走することができる。 ④欲求やストレスについて理解し、自分の体に興味を持つことができる。

1 学習のねらい

ものづくりなどを実際に行ったり、考えたりする中で、身の回りの生活に必要な基礎的な知識と技術を身につけよう。その中で、生活と技術とのかかわりについて理解を深め進んで生活を工夫し創造する能力と実践的な態度を身につけよう。

2 学習を進めるにあたって

使用教材	教科書:技術・家庭 技術分野(東京書籍) 補助教材:新技術・家庭総合資料(正進社) 技術ハンドノート A(正進社)	持ち物	教科書、ファイル、 資料集、ハンドノート 作業時:体操服
学習方法	学校	・コの字型、小グループ等での話し合い活動に積極的に参加し、考えを深めよう。 ・授業中は先生の話を中心して聴き、指示通り安全に作業をしよう。 ・まずは自分で考え工夫し、分からないことがあったら、友達や先生にたずねよう。 ・配付プリントや定期テストはきちんとファイルに綴じよう。	
	家庭	・テストで間違えた問題は復習しておこう。 ・生活の中での技術について興味を持とう。 ・家でも、学んだことを生かしていこう。	

3 評価について

	評価観点	評価の場面・方法
①生活や技術への 関心・意欲・態度	生活や技術について関心を持ち、生活を充実向上するために進んで実践しようとする。	学習活動への参加の仕方や態度 プリントの作成状況 定期テスト
②生活を工夫し創造する能力	生活について見直し、課題を見つけ、その解決を目指して自分なりに工夫し、想像する。	授業での発言や取り組み内容 課題作品の様子 プリントの作成状況 定期テスト
③生活の技能	生活に必要な基礎的な技術を身につけている。	課題作品の様子や製作工程 プリントの作成状況 定期テスト
④生活や技術についての知識・理解	生活や技術に関する基礎的な事項や生活と技術とのかかわりについて理解し、知識を身につけている。	授業での発言や取り組み内容 定期テスト

4 学習計画について

学期	学習計画	つけたい力
1	材料と加工に関する技術 ・材料と加工法 ・製作品の設計・製作 ・材料と加工に関する技術の評価・活用	・身の回りにある技術について考え、生活にどのように役立っているか理解し、説明できる。 ・材料について、それぞれの特徴について考え、表にまとめることができる。 ・等角図、キャビネット図を理解し、正しい寸法で書き換えができる。 ・強度を高めるために実際に使われている技術について理解し、模型作りを通して、構造と強度の関係について考えることができる。 ・木工道具(さしがね、両刃のこぎり、木工やすり、四つ目きり、げんのう)や木工機械(ベルトサンダー)が安全に使うことができる。また、製作では寸法通り完成することができる。
2	情報に関する技術 ・コンピュータと情報通信ネットワーク ・デジタル作品の設計・製作	・機器の名称・メディアや情報の単位について理解し、説明できる。 ・ローマ字入力ができる。 ・ネットワークの仕組みについて理解する。必要な情報を検索することができる。 ・情報モラル(著作権や個人情報)について理解し、説明できる。 ・ソフトウェアの基本的な使い方がわかる。

1 学習のねらい

生活の中で食事が果たす役割や健康と食事のかかわりについて考え、関心を高める。
また、食品の栄養素の種類や働き、食品の選び方に関する知識を身につける。日常食の調理の基礎的な技能を身につける。

2 学習を進めるにあたって

使用教材	教科書:技術・家庭 家庭分野(東京書籍) 補助教材:新技術・家庭総合資料(正進社)	持ち物	教科書、ファイル、資料集、色鉛筆
学習方法	学校	・コの字型、小グループ等での話し合い活動に積極的に参加し、考えを深めよう。 ・授業中は先生の話を中心して聴き、わからないところは友達や先生にたずねよう。 ・実習では説明をよく聴き、手本はしっかり見て実践しよう。 ・配付プリントや定期テストはきちんとファイルに綴じよう。 ・提出物の提出期限を守ろう。	
	家庭	・テストで間違えた問題はそのままにせず、復習しておこう。 ・家事仕事の手伝いを積極的に取り組もう。 ・学習したことを家で実践してみよう。	

3 評価について

評価観点		評価の場面・方法
①生活や家庭への関心・意欲・態度	食生活や家庭について関心を持ち、食生活を充実向上するために進んで実践しようとする。	学習活動への参加の仕方や態度 ファイルやノートの作成状況 定期テストやプリント
②生活を工夫し創造する能力	食生活について見直し、課題を見つけ、その解決を目指して自分の食生活をよりよくする為に工夫し、想像する。	授業での発言や取り組み内容 ファイルやノートの作成状況 定期テストやプリント
③生活の技能	食生活の自立に必要な基礎的な技術を身につけている。	課題の取り組み状況 自習中の技能の習熟状況 実習記録への記入状況 自己評価
④生活や家庭についての知識・理解	食生活や家庭に関する基礎的な事項や食生活と家庭とのかかわりについて理解し、知識を身につけている。	授業での発言や取り組み内容 定期テストや小テスト

4 学習計画について

学期	学習計画	つきたい力
2 8月	食生活の見直し 栄養素のはたらき 中学生の栄養の特徴 食品と栄養素 献立 食品の選び方	・自分の食生活についてチェックし、それぞれの問題点を見つけることができる。 ・食事が果たす役割や栄養素の種類とはたらき、中学生の栄養の特徴について理解できる。 ・食品成分表を見て、食品の中に含まれる栄養素を調べることができる。 ・食品を食品群別に分類できる。 ・よい献立の条件、献立作成の手順を知り、中学生に必要な栄養を満たす1日分の献立を作成できる。 ・身近な食品に関心を持って学習に取り組むことができる。 ・身近な食品の品質の見分け方を理解できる。
3 1月	食品の表示 調理計画 実習準備 実習 肉・魚・野菜の料理	・加工食品の表示の意味を知り、理解できる。 ・食品の品質を見分け、用途に応じた選択ができる。 ・調理実習の流れや調理用具の安全と衛生、環境に留意した取り扱い方を理解できる。 ・分担した役割を果たし、班で協力して作業を進めることができる。 ・基本的な調理作業ができる。 ・肉、魚、野菜の調理上の性質を理解できる。

1 学習のねらい

英語を通して、言語や文化に対する理解を深め、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成を図り、聞くこと、話すこと、読むこと、書くことなどのコミュニケーション能力の基礎を養う。

【確かな学力】【豊かな心】【地球市民としての資質を備えた人間】の育成

2 学習を進めるにあたって

使用教材	教科書: NEW CROWN ENGLISH SERIES New Edition 1 (三省堂) 補助教材: 英語ニュー・スタディノート(教育同人社)、 英語のセクションスタディ(学宝社) 聞きたレ64(浜島書店)		持ち物	教科書、ファイル 英語ニュースタディノート 英語のセクションスタディ
学習方法	学校	・コの字型、小グループ等での話し合い活動に積極的に参加し、考えを深めよう。 ・基本文をよく理解し、覚えて使えるようにしよう。 ・先生やCDの英語をよく聴いて、スタンダードな発音で言えるようにしよう。 ・間違えることを恐れないで、たくさん英語で話したり書いたりしよう。		
	家庭	・復習として本文を音読し、できれば暗唱しよう。 ・単語は意味や用法を理解し、文章で使えるようにしよう。 ・ワークの問題で復習をしよう。間違えたところを繰り返し復習しよう。		

3 評価について

評価観点		評価の場面・方法
①コミュニケーションへの関心・意欲・態度	コミュニケーションに関心を持ち、積極的な態度で言語活動に参加している。 他者とのコミュニケーションを図ろうと努力している。 学習を通して、自分の英語力に向き合い、深い学びにつなげている。	授業のコミュニケーション活動への参加 授業時の準備と授業中の態度 提出物の状況 YEF(外国人英語指導員)との活動 ベーシック(英単語) 学びのパスポート
②外国語表現の能力	基本文型や単語などを用いて、自分の考えを話したり、書いたりすることができる。	課題での自己表現 テストなどの表現に関する問題
③外国語理解の能力	英語を聞いたり読んだりして、情報や考えなど、相手が伝えようとする内容を理解することができる。 物語などの文章を読んで、場面の変化や登場人物の心情などを読み取ることができる。	テストなどの理解に関する問題 授業中の理解度
④言語・文化についての知識・理解	言語やその運用についての知識を身につけている。 背景にある文化などを理解している。	テストなどの言語や文化に関する問題

4 学習計画について

学期	学習計画	つきたい力
1	• LESSON 1 I Am Tanaka Kumi 【人間・社会】 • LESSON 2 My School 【人間・社会／自然・伝統文化】 • LESSON 3 I Like Soccer 【人間】	• I am ～. / You are ～.の表現を理解し、使うことができる。 • あいさつ・自己紹介ができる。 • This / That / She / He is ～.などの表現を理解し、使うことができる。 • 人やものの紹介ができる。 • 一般動詞を用いた表現を理解し、使うことができる。 • 好きなものの紹介ができる。
2	• LESSON 4 Field Trip 【自然・共生】 • LESSON 5 Our New Friend 【人間・社会】 • LESSON 6 My Family 【異文化】 • LESSON 7 Sports for Everyone 【人間・社会】	• 複数形や数のたずねかた、命令文を理解し、使うことができる。 • 自然環境について関心を持つことができる。 • 疑問詞を用いたたずね方と人称代名詞の目的格の用法を理解し、使うことができる。 • クラスメートに関心を持ち、質問し合うことができる。 • 3人称単数現在形を理解し、使うことができる。 • イギリスについて関心を持つことができる。 • 助動詞 can の意味・用法を理解し、使うことができる。 • いろいろなスポーツについて関心を持つことができる。
3	• LESSON 8 School Life in the USA 【学び】 • LESSON 9 Four Seasons 【伝統文化】 • LET'S READ 1 Alice and Humpty Dumpty 【異文化】	• 現在進行形を理解し、使うことができる。 • 外国の中学校生活について関心を持つことができる。 • 一般動詞の過去形を理解し、使うことができる。 • 日本の身近な年中行事について関心を持つことができる。 • アリスの物語を、音声に注意して読むことができる。 • イギリスの文学について関心を持つことができる。

1 学習のねらい

よりよく生きるための基盤となる道徳性を養うため、道徳的諸価値についての理解を基に、自己を見つめ、物事を広い視野から多面的・多角的に考え、自己の生き方(人間としての生き方)についての考えを深める学習を通して、道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てる。

2 学習を進めるにあたって

使用教材	とびだそう未来へ中学道徳1(教育出版)		持ち物	教科書、ファイル 「道徳の授業を振り返って」(自己評価プリント)
学習方法	学校	・「他人事」ではなく「自分事」として考えよう。 ・物事を広い視野から多面的・多角的にとらえよう。 ・「考え、議論する」授業をめざして、コの字型、小グループでの話し合い活動に積極的に参加し、友だちの意見に耳を傾け、意見を交換し、考えを広げたり、深めたりしよう。		
	家庭	・自分たちの住んでいる地域に関心を持ち、家庭や地域の人々と話をしたり、積極的に関わったりしていこう。 ・社会のニュースに関心を持ち、現代的な課題を自分との関係において考え、解決にむけて取り組めることからやっていこう。		

3 評価について

道徳科の評価については、「特別の教科」の位置づけに見られるように、他教科のような観点別評価は妥当ではないと学習指導要領で示されている。そこで、以下の視点に考慮して、子どもたちの成長に関して記述評価することとする。

評価の視点	評価の場面・方法
毎時間の学習の様子かどうか。 (主に生徒の学習状況をとらえた評価)	① ノート や ワークシート ② 子どもの発言などの記録 (例えば板書の写し撮り・座席表など) ③ パフォーマンス ④ 子どもの自己評価 ⑤ 他の観察者の評価
自分事としてとらえたか。 (主に自分との関わりでの価値の深まりに関する評価)	
考えが深まったか。 (主に多面的・多角的な見方への発展をとらえた評価)	
変化がみられたか。 (主に道徳性にかかる成長の様子をとらえた評価)	

4 学習計画について

学期	学習計画	つきたい力
1	・あなたが うまれた ひ D【生命の尊さ】 ・おはよう B【礼儀】 ・古びた目 覚まし時計 A【節度, 節制】 ・不自然な独り言 B【思いやり, 感謝】 ・自分で決める A【自主, 自律, 自由と責任】 ・「どうせ無理」をなくしたい A【希望と勇気, 克己と強い意志】 ・「いじり」? 「いじめ」? B【相互理解, 寛容】	・命がかけがえのないものだということを, 話し合いを通して認識し, 全ての命を祝福し, 尊重しようとする。 ・挨拶の本当の意味を考えることを通して, 礼儀の意義を理解し, 相手を尊重する気持ちをもって, 時と場に応じた適切な言動をとろうとする。 ・時間を大切にし, 日常生活の中で望ましい生活習慣を身につけようとする。 ・目の不自由な人との出会いについて書かれた教材を通し, 温かい人間愛の精神を深め, 他の人々に対し思いやりの心をもとうとする。 ・自分で物事を決める際に大切なことについて, 話し合い活動を通して考え, 自分の行動に責任をもつ。 ・より高い目標を目ざし, 希望と勇気をもって着実にやり抜く強い意志をもとうとする。 ・いじりといじめの境界線について考え, 話し合うことによって, 人の気持ちを考えたりくみ取ったりしようとする。
2	・富士山を守っていくために D【自然愛護】 ・ごめんね、おばあちゃん C【家族愛, 家庭生活の充実】 ・まだ進化できる～イチロー選手の生き方～ A【向上心, 個性の伸長】	・富士山が世界文化遺産に登録された経緯について学んだり話し合ったりしながら, 自然を守っていくために自分にできる貢献をしていこうとする。 ・おばあちゃんに対する思いの変化を捉え, 父母, 祖父母に敬愛の念を深めようとする心情を育てる。 ・イチロー選手が進化し続けられる理由についての議論を通して, 個性を伸ばし向上していこうとする態度を育てる。

2	・最強の敵 最大の友 B【友情, 信頼】 ・選ぶということ C【社会参画, 公共の精神】 ・裏庭でのできごと A【自主, 自律, 自由と責任】 ・一日前に戻れるとしたら A【節度, 節制】 ・ルールとマナー C【遵法精神, 公德心】 ・けやき中を誇りに C【よりよい学校生活, 集団生活の充実】 ・ショートパンツ初体験 in アメリカ B【相互理解, 寛容】 ・あなたならどうしますか C【公正, 公平, 社会正義】 ・もったいない B【思いやり, 感謝】 ・いのちを考える D【生命の尊さ】 ・歴史を変えた決断 C【国際理解, 国際貢献】 ・幸せな仕事って C【勤労】	・高い目標に向かって切磋琢磨しあう二人の心境についてロールプレイ活動を通して味わい, 誰かを信頼しながら自らを高めようとする。 ・「自分たちの代表を選ぶ」ということについての議論を通して, 学校や社会をよりよくするために主体的に関わっていこうとする。 ・正直に行動することで得られることについて話し合い活動を通して考え, 自分の行動に責任をもつ。 ・安全への配慮としてすべきことを, 話し合い活動を通して多面的に捉え, 望ましい生活習慣を身につけようとする。 ・日常で起こりうるやり取りを通し, SNSにおいても現実社会と同様に「法やきまり」により秩序が保たれていることを理解し, 自他の権利を大切にしながら, 社会の秩序と規律を高めていこうとする。 ・伝統の合唱祭に臨む姿勢を考えさせることで, 学級や学校の一員としての自覚をもち, 協力し合ってよりよい校風をつくるとともに, 集団生活の充実に努めようとする。 ・今までの自己を脱却し, 強く生きようとする「私」を通して, それぞれの個性や立場を尊重し, 色々なものの見方や考え方があることに気づき, 寛容の心をもって謙虚に他に学ぼうとする。 ・正義を重んじ, 誰に対しても公正, 公平に行動しようとする。 ・「もったいない」ことについて考えることを通して, 身近なものや自分の生活, 周りの人へ感謝しようとする。 ・生命の尊さや, 命の重さについて改めて考え, 自分や相手, 人間の命だけでなく, 全ての命について考えようとする。 ・日本のことだけでなく国際的視野に立って, 世界の平和と人類の発展に貢献するという理想を抱き, 国際理解に努めようとする。 ・職業聞き取りの話から, 職業選択のあり方, 働くことの意義を考えることを通して, 自分の仕事に誠実に取り組むことのすばらしさに気づかせ, 自分の将来の勤労について考えようとする。
---	---	---

3	・私に宇宙のプレゼント D【よりよく生きる喜び】 ・伝えたい味 C【郷土の伝統と文化の尊重, 郷土を愛する態度】 ・二度と通らない旅人 D【よりよく生きる喜び】 ・全ての人に安心, 安全な水を A【真理の探究, 創造】 ・チョコの行方 B【友情, 信頼】 ・よく生きること, よく死ぬこと D【生命の尊さ】 ・“庶民の笑い”を絶やさない～落語家・桂米朝さんの生涯～ C【我が国の伝統と文化の尊重, 国を愛する態度】 ・オーロラの向こうに D【感動, 畏敬の念】	・困難に立ち向かい強く生きていこうとする「私」を通して, 弱さや醜さを乗り越え, 強く生きようとする気持ちの大切さを理解し, 強く生きていこうとする心情を育てる。 ・郷土のために自分ができることは何かを考え, 郷土の発展のために自分が寄与しようとする。 ・人間の弱さや醜い部分に気づき, それを克服して気高く生きることができると学ぶことを通して, 自分自身が人間として生きる喜びを感じ, 誇りある生き方を目ざそうとする。 ・自由な発想の中で真理を探究しつつ, 新しいものをつくりだすことの大切さを理解し, よりよい社会を築こうとする。 ・人とつき合うときに, 相手を信頼し, 大切に思ったり, わかろうとしたり, 高め合おうとしたりする。 ・自分の思いだけでなく, 周りの人々へ感謝しながら生きることを理解し, 命を授かり, 限りある中で, 生きる意味を見いだしながら, よりよく生きていこうとする。 ・上方落語にかけた桂米朝さんの生き方を考えることを通して, 日本の伝統と文化を大切にしようとする。 ・美しさと厳しさをあわせもった自然の前で自らの有限性を痛感する「僕」の心境を話し合い活動を通して多面的に捉え, 自然を畏れ, 敬おうとする。
---	--	---